

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度	
大項目	基本目標	06	健全で自立したまちづくり
中項目	基本施策	01	簡素で効率的な行政運営
小項目	施策	12	その他事務管理(財産管理)
事務事業名		02	日生総合支所維持管理事業
根拠法令・例規等		備前市役所及び出張所費設置条例	
問		担当課(室)	日生総合支所 窓口管理課
合		職・氏名	主査 北川竜介
先		電話	0869-72-1104
このシート作成に要した時間		4.0 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市民及び職員
目的(何のために)	行政サービスを維持し、適正に行うために日生総合支所の維持管理を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	維持管理コストの削減

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	庁舎維持管理業務	庁舎の維持管理	
	清掃業務	庁舎内外の清掃	
	補修業務	施設の老朽化所等を整備	
	共済業務	火災保険の加入	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
事業費	直接事業費	千円	9,410	8,280	7,221
	必要人員人件費	千円	1,867	2,052	790
	事業費計	千円	11,277	10,332	8,011
決算額	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円	48	48	48
	繰入金	千円			
	その他()	千円			
一般財源	千円	11,229	10,284	7,963	
受益者負担比率	%	0.4%	0.5%	0.6%	

結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	結果指標量		11,277	10,332	10,332
	対前年比	%		91.6%	100.0%
	活動コスト	円	11,277	10,332	8,011
	単位当たりコスト	円	1	1	1

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成22年度目標値
維持管理コスト	目標値(A)	6,000	5,000	5,000	4,000
	実績値(B)	5,304	4,860	3,746	到達目標値
	達成率(B/A)	88.40%	97.20%	74.92%	3,000
成果指標設定の考え方・式や説明					
できる限り維持管理コストを削減するため、維持管理単価を成果指標とする(総事業費÷延床面積2126㎡)					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	妥当性評価 <A-E> B
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> C
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> C

事業の目的やその留意目標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	維持管理コストの削減に向け、施設の清掃を定期的に職員が行い直営で実施。本庁方針に基づいた総合的な省エネルギー改善を実施している。					

総合評価	
組織として必要な業務であり、概ね良好に実施できていると考えられるが、維持管理費の削減等今後検討し継続する。	評価区分 <A-E> C

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	職員1人1人の省エネルギーに対する意識改善を積極的に実施する					